

樗牛賞 石井さん(鶴岡市) 受賞

富樫さん(鶴南高)、加藤さん(酒東高) 奨励賞

鶴岡市教育委員会は29日、地方の文化向上に尽くした人に贈る「高山樗牛賞」の本年度受賞者に、俳句の文芸活動を通して地方文化の啓蒙向上に貢献している石井野洲子(本名・安子さん81)＝鶴岡市羽黒町手向＝を決め、発表した。児童生徒対象の高山樗牛奨励賞には鶴岡南高2年の富樫永理奈さん(16)と酒田東高3年の加藤澤奈さん(18)が選ばれた。授賞式は11月25日(木)に同市のグランドエル・サンで行われる。

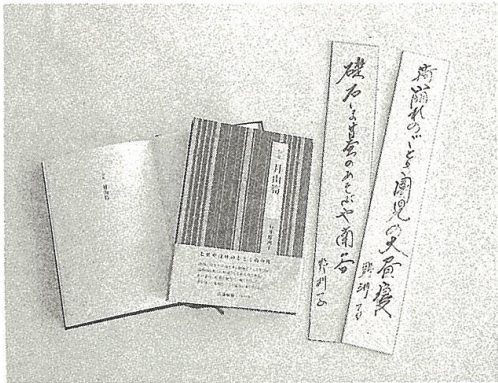
俳句の文芸活動で地方文化に貢献

樗牛賞は、歴史小説「瀧口入道」などで知られる庄内が生んだ明治の文豪・高山樗牛(1871-1902年)の偉業を顕彰し、地方文化の向上を目的に樗牛出身地の同市教委が1995

8年に制定。庄内に居住し、文芸、評論、作文などで功績のあった人に贈られている。今年が64回目。樗牛賞の石井さんは、1988(昭和63)年に当時国内唯一の会員数を誇った全国的な俳句結社「人」に入会して研さんを積み、結社内で99年に新人賞、2007年に最高賞「人賞」を受賞。11年には句集「月山笛」を上梓。石井さんの作



加藤 澤奈さん 富樫永理奈さん 石井野洲子さん



品 石井さんの作

手向地区や出羽三山の四季の自然や暮らし、祭事や神事を詠んだ作品が多く、暮らしに密着した句材を詠むことが、対象把握の確かさや表現の的確さに結び付いている。俳聖・松尾芭蕉にちなんだ「奥の細道・羽黒山全国俳句大会」では地方

選者として大会運営に関わるなど、出羽三山の俳句文化を対外的に発信する活動も継続。現在は「いではの会」を主宰し、俳句の指導と後進の育成にも努めている。石井さんは受賞に「驚きとともに、大変光栄なことだけれど、喜びを語り、「芭蕉との関連で俳句が盛んで『俳句の聖地』とも呼ばれた出羽三山の羽黒で、その文化を次代につなげた」と俳句を続けてきた。幸い、若い人につながることができ、今はそれが一番の喜び。羽黒山全国俳句大会に訪れる著名な俳人やさまざまな人たちとの出会いで、育てていただいたと思っ

ている」と話した。奨励賞の富樫さんは、幼い頃から本に親しみ、小学生の時から読書感想文コンクールに出品して多くの賞を受賞。「広辞苑」を対象図書にした読書感想文「ことば探しの旅に出ようが、昨年度の青少年読書感想文全国コンクールで文部科学大臣賞を受賞した。加藤さんは小説「祈幸の鬼」を創作した。主人公の男子中学生が、少年の姿をした鬼と出会い、本当の自分とは何か、本当に生きるとは何かを探っていく作品で、2019年度の全国高校校文芸コンクール小説部門で優良賞を受賞した。